

東京都市計画火葬場の変更（大田区決定）

東京都市計画火葬場第8号臨海部広域斎場を次のように変更する。

種別	名称		位置	面積	備考
	番号	火葬場名			
火葬場	第8号	臨海部広域斎場	大田区東海一丁目3号1番	約2.3ha	処理能力 火葬炉 20基

「区域は計画図表示のとおり」

理由：臨海斎場を設置する臨海部広域斎場組合の組織区における人口動態を踏まえた将来の火葬需要に対応するためには、火葬炉を増設する必要があることから、都市計画を一部変更する。

変更概要

名称	変更事項
東京都市計画火葬場第8号臨海部広域斎場	処理能力の変更 火葬炉 8基→20基

東京都市計画火葬場（東京都市計画火葬場第8号臨海部広域斎場）の変更（大田区決定）について

【説明資料】

1 趣旨	<p>議案は、大田区東海一丁目に位置する東京都市計画火葬場第8号臨海部広域斎場の火葬炉数8基から20基に変更するものである。</p>	<p>●大田区都市計画決定 平成12年12月20日決定</p>
2 経緯及び現況	<p>臨海部広域斎場は、港区、品川区、目黒区、大田区及び世田谷区が設置した臨海部広域斎場組合が運営する公営火葬場である。</p> <p>組織区における死亡者数は開業以来増加し続けており、2060年頃にピークを迎えるまで増加する見込みである。</p> <p>臨海斎場の利用件数は令和6年度実績で開業時の2倍を超えており、現況の火葬場設備では、今後の火葬需要の増加に対応できず、区民生活に大きな支障を来すことが想定される。</p> <p>このため、住民福祉の充実を図ることを目的に、火葬炉数を20基とするものである。</p>	<p>●東京都 東京都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 令和3年3月2 ゆとりある回遊性を支える都市施設 (都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針)</p> <p>⑤ その他の都市施設 ・不足傾向にある火葬場などの都市施設については、地域の特性に配慮しながら整備を検討する。</p> <p>●大田区都市計画マスタープラン 令和4年3月 P73 地域別方針 市街地別都市づくり方針 ②物流・流通ターミナル市街地 ・火葬場などの都市施設について機能の維持、充実を図る。</p>
3 位置	<p>本計画地は、大田区臨海部の埋立地である東海一丁目に位置し、公園、物流施設、東京都水道局の給水所に隣接している。</p>	<p>●用途地域等について 商業地域 建ぺい率 80% 容積率 400%</p>
4 内容	<p>敷地内北側の駐車場に新たに火葬棟を増築し、火葬炉10基を増設する。なお、敷地の位置及び面積は変更しない。</p>	
5 説明会の予定	<p>日 時：令和8年3月 場 所：大森スポーツセンター 集会室</p>	
6 事業の予定	<p>令和7年度 基本設計 令和8年度から9年度 実施設計 令和10年度から12年度 施設建設工事 令和12年度 供用開始</p>	

【参考】臨海部広域斎場 施設整備の概要

1.コンセプト

- (1) 故人との最後のお別れの場にふさわしい施設計画
- (2) プライバシー性の高い、
会葬の各シーンにふさわしい施設計画
- (3) 誰もが安心して利用できる施設計画
- (4) 既存棟と一体的な運用を実現する増築・施設計画
- (5) 持続可能で、環境に配慮した施設計画

2.施設概要

所在地 大田区東海1-3-1
 敷地面積 22,496.74㎡
 高さ・規模 約15m・地上3階建て(地下なし)
 延床面積 約4,400㎡ (既存棟約7,600㎡)

各階面積	用途	面積
1階	告別室・収骨室・火葬炉設備等	約1,900㎡
2階	待合室7室・多目的室3室等	約2,150㎡
3階	設備室等	約350㎡

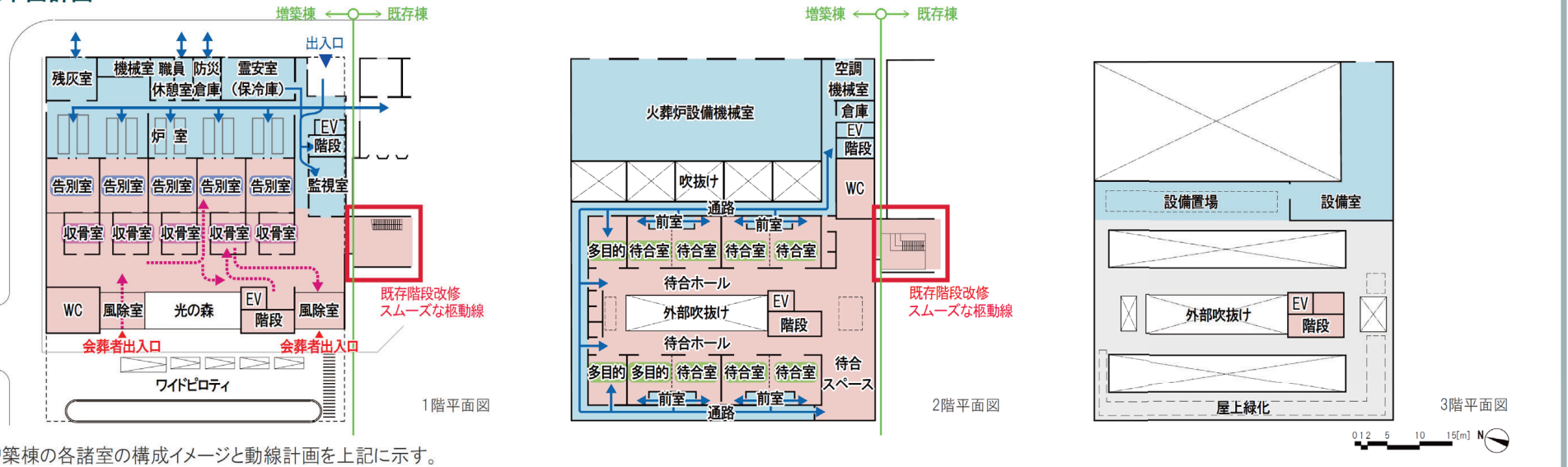
※面積調整中

3.配置計画

・駐車台数 計166台(バス・マイクロバス駐車場8台除く)



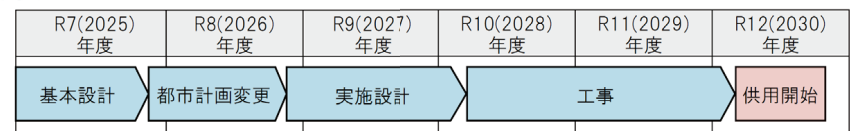
4.平面計画



・増築棟の各諸室の構成イメージと動線計画を上記に示す。
 ・赤いエリアが主に会葬者利用、青いエリアが主にスタッフ利用を想定。

凡例	諸室面積	室名称	各室合計面積	1室あたり
● 会葬者の動線	※面積調整中	告別室(1階)	約340㎡	約68㎡
● 会葬者利用エリア		収骨室(1階)	約160㎡	約32㎡
● スタッフの動線		待合・多目的室(2階)	約520㎡	約52㎡
● 管理諸室エリア				

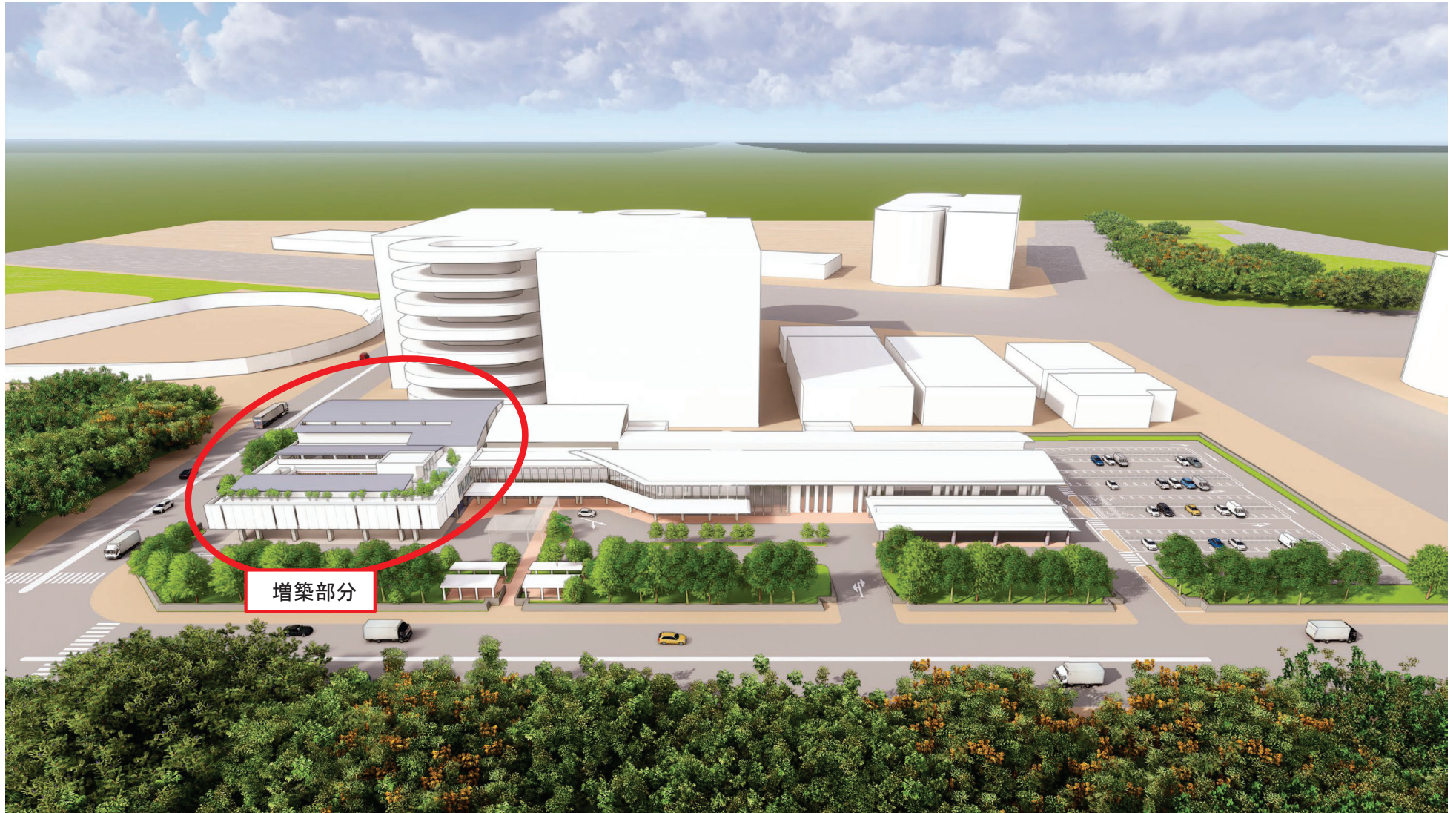
5.今後のスケジュール



イメージ図



イメージ図



増築部分